

市第138号議案 令和3年度横浜市一般会計補正予算(第9号)

文化観光局関係部分

1 人件費の補正(予算議案5頁、予算説明書99頁)

市人事委員会勧告に基づく給与改定に伴い、人件費を減額します。

△ 4,056千円

2 事業費の補正(予算議案5頁、予算説明書99頁)

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用制限等を行った影響で収支が悪化している指定管理施設に対する運営支援を実施します。(区民文化センター6施設、横浜にぎわい座等文化施設7施設、横浜人形の家)【参照：2頁 参考1】

103,522千円

3 財源更正(予算議案4、10頁、予算説明書88、99頁)

横浜方式のプライマリーバランス均衡の観点から、各局事業の市債活用可能額に関する財政局の精査に基づき、市債を減額します。

△ 284,000千円

(歳入)

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補 正 前 額 | 補 正 額 | 計 | 節 | |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------------|-----------|
| | | | | 区 分 | 金 額 |
| 25款 市 債 | 5,547,000 | △ 284,000 | 5,263,000 | | |
| 1項 市 債 | 5,547,000 | △ 284,000 | 5,263,000 | | |
| 3目 文化観光債 | 5,547,000 | △ 284,000 | 5,263,000 | (1) 文化施設整備費充当債 | △ 284,000 |

(歳出)

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補 正 前 額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源 | | | |
|----------------|------------|---------|------------|---------|-----------|-----|---------|
| | | | | 特定財源 | | | 一般財源 |
| | | | | 国 県 支出金 | 市 債 | その他 | |
| 4款 文化観光費 | 19,251,339 | 99,466 | 19,350,805 | — | △ 284,000 | — | 383,466 |
| 1項 文化観光費 | 19,251,339 | 99,466 | 19,350,805 | — | △ 284,000 | — | 383,466 |
| 1目 文化観光総務費 | 1,309,437 | △ 4,056 | 1,305,381 | — | — | — | △ 4,056 |
| 2目 文化芸術創造都市推進費 | 11,358,905 | 70,921 | 11,429,826 | — | △ 284,000 | — | 354,921 |
| 4目 観光MICE振興費 | 6,034,637 | 32,601 | 6,067,238 | — | — | — | 32,601 |

4 債務負担行為補正(予算議案8頁、予算説明書130頁)

文化観光局、市民局、環境創造局の3局で、4年度から再構築に着手する横浜市市民利用施設予約システムについて、3年度中から事業者の公募手続きを行うため、債務負担行為を新たに設定します。【参照：2頁 参考2、3】

| 事 項 | 期 間 | 限 度 額 |
|-------------------------------------|----------------|---------------|
| 横浜市市民利用施設予約システム再構築委託契約の締結に係る予算外義務負担 | 令和4年度から令和5年度まで | 限度額 500,000千円 |

【参考1】指定管理施設に対する運営支援の概要

新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金等の収入減少、感染症対策に要する費用の増加等により見込まれる施設の実収支差額を支援。

| | | |
|---------|--|---|
| 対象施設 | 区民文化センター | 鶴見、神奈川、旭、磯子、青葉、栄 |
| | 文化施設 | 横浜にぎわい座、大佛次郎記念館、関内ホール、長浜ホール、大倉山記念館、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ |
| | 観光施設 | 横浜人形の家 |
| 対象期間 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日 | |
| 主な利用制限等 | 令和3年4月20日～8月1日 まん延防止措置等重点措置の適用 20時までの開館時間の繰り上げ、収容人数制限 等 | |
| | 令和3年8月2日～9月30日 緊急事態宣言発令 20時までの開館時間の繰り上げ、収容人数制限 等 | |

【参考2】現行の市民利用施設予約システムの概要

| | |
|-----------|--|
| 概要 | 市民サービスの向上を図るため、関内ホールや区民文化センター等の文化施設及びスポーツセンターやテニスコート等のスポーツ施設の利用予約を直接施設へ足を運ぶことなく、インターネット若しくは電話で受け付けるシステム。 |
| 対象施設 | 78施設（文化施設 21施設、スポーツ施設 57施設） |
| 稼働期間 | 平成26年1月～令和5年12月（10年間） |
| システム構築事業者 | 株式会社 日立システムズ |
| 関連費用 | <ul style="list-style-type: none"> ・構築費 約2億3,000万円（税込み） ・運用費 約1億800万円（税込み、年間） |

【参考3】再構築後の市民利用施設予約システムの概要

現行のシステムの機能を基本としつつ、登録料・施設利用料のキャッシュレス決済や各種手続きのオンライン化等の新たな機能を追加することで、利便性の向上を図ります。
（令和5年秋稼働予定）